

プログラム

第1部 表彰式 13:00~

「心の輪を広げる体験作文」「障害者週間のポスター」最優秀賞受賞者表彰

開 会

1. 主催者挨拶
2. 審査講評
3. 内閣総理大臣表彰
4. 後援団体副賞贈呈

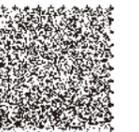
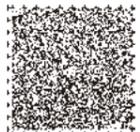
- 社会福祉法人 朝日新聞厚生文化事業団
社会福祉法人 NHK 厚生文化事業団
公益財団法人 日本障害者リハビリテーション協会
公益財団法人 毎日新聞東京社会事業団
社会福祉法人 読売光と愛の事業団
公益財団法人 国際障害者年記念ナイスハート基金

5. 「心の輪を広げる体験作文」最優秀賞作品朗読

第2部 「障害者週間」記念シンポジウム 14:30~

テーマ：真の共生社会とは何か、あらためて問うー全ての命と尊厳の尊重を

- 基調講演 【講師】 野澤 和弘氏
株式会社毎日新聞社論説委員、障害者政策委員会委員
- パネルディスカッション
【コーディネーター】 野澤 和弘氏
【パネリスト】 久保 厚子氏
全国手をつなぐ育成会連合会会長、障害者政策委員会委員
熊谷 晋一郎氏
東京大学先端科学技術研究センター准教授
藤原 久美子氏
自立生活センター神戸 Be すけっと事務局長
名里 晴美氏
社会福祉法人訪問の家理事長



「心の輪を広げる体験作文」及び「障害者週間のポスター」最優秀賞受賞者

心の輪を広げる体験作文

・益田 幸奈 (小学生部門) ・常盤 美海 (中学生部門) ・山崎 嘉通 (高校生・一般部門)

障害者週間のポスター

・岡本 彩佐 (小学生部門) ・榎本 雛 (中学生部門)

「障害者週間」記念シンポジウムの講師等

◆基調講演 講師・パネルディスカッション コーディネーター

野澤 和弘氏 【株式会社毎日新聞社論説委員、障害者政策委員会委員】

毎日新聞社論説委員、障害者政策委員会委員、障害者差別解消支援地域協議会の在り方検討会会長。元千葉県障害者差別をなくす研究会座長、社会保障審議会障害者部会委員、植草大学客員教授。1983年毎日新聞社入社。津支局、中部報道局、東京社会部、薬害エイズ取材班、児童虐待取材班など。科学環境部副部長、社会部副部長を経て、2007年から夕刊編集部長、2009年から毎日新聞社論説委員。

◆パネリスト

久保 厚子氏 【全国手をつなぐ育成会連合会会長、障害者政策委員会委員】

1951年滋賀県生まれ。1975年に重度知的障害者の長男を出産。親として障害者福祉に係るきっかけとなる。現在、知的障害者相談員、全国手をつなぐ育成会連合会会長、(社福)しが夢翔会理事長、厚生労働省社会福祉審議会障害者部会委員、内閣府障害者政策委員会委員、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた障害者の文化芸術を推進する全国ネットワーク会長、などを中心に活動している。

熊谷 晋一郎氏 【東京大学先端科学技術研究センター准教授】

1977年山口県生まれ。新生児仮死の後遺症で、脳性まひに。以後車いすでの生活となる。東京大学医学部医学科卒業後、千葉西病院小児科、埼玉医科大学小児心臓科での勤務、東京大学大学院医学系研究科博士課程での研究生活を経て、現職。専門は小児科学、当事者研究。主な著作に、『リハビリの夜』(単著、医学書院、2009)、『発達障害当事者研究』(共著、医学書院、2008)、『つながりの作法』(共著、NHK出版、2010)、『痛みの哲学』(共著、青土社、2013)など。

藤原 久美子氏 【自立生活センター神戸 Be すけっと事務局長】

NPO法人CILBeすけっと理事・事務局長、ピア・カウンセラー。DPI女性障害者ネットワーク代表、DPI日本会議常任委員。10代の時にI型糖尿病になり、34歳の時、合併症による網膜症で、視覚障害(弱視)になる。2000年生活訓練を受け、退所後、自立生活センター神戸Beすけっと(びすけっと)にボランティアとして関わり、ピア・カウンセリングを学び、2004年ピアカウンセラーとして職員採用。妊娠・出産・育児をする上で、障害女性としての生きづらさを痛感し、女性障害者の複合差別解消に取り組んでいる。

名里 晴美氏 【社会福祉法人訪問の家理事長】

1961年埼玉県生まれ。1984年法政大学社会学部卒業後、障害者地域作業所「朋」就職。(障害者地域作業所「朋」は現在の『朋』の前身で、重症心身障害児者といわれる人が、当時の養護学校卒業後に通い、集う場。)1986年社会福祉法人訪問の家『朋』支援スタッフ。2000年同施設長。2004年訪問の家退職、重症心身障害児施設『横浜療育医療センター』(社会福祉法人十愛療育会が運営)地域サービス課入職。2010年社会福祉法人訪問の家日浦美智江前理事長の退任に伴い、同理事長就任。現在に至る。